



秋田起業・創業支援ハブ交流 in 由利本荘・にかほ

起業家同士の交流、情報交換の場の創出のため「秋田起業・創業支援ハブ交流in由利本荘・にかほ」を9月5日に開催した。イベントでは近隣起業家の事例紹介として、memomi(メモミ)の代表である佐藤美帆氏、Ventos(ベントス)の代表である中山功大氏の講演を実施。後半は企業家8者がブースを設けて商品・サービスの紹介や販売などを行いながら、来場者同士の交流が行われた。

同様に、9月21日には大館市でも開催し、起業家同士がつながるきっかけづくりを行っている。



会場:由利本荘市文化交流館カダール



事例紹介



memomi代表
佐藤 美帆 氏

秋田県出身で、現在由利本荘市鮎川駅前ドライフラワーと雑貨のお店「memomi」を開業した佐藤さん。講演では開業に至るまで、開業してから感じていることについて紹介した。

「ワークライフバランス、SDGs、エシカル消費を大切にしたいコンセプトで、おしゃれに楽しく地域のロスをなくすお店を目指して開業した。開業にあたっては由利本荘市商工会がバックアップを行い、経産省の『女性起業家伴走支援プログラム』による支援を活用。開業コンセプト立案や戦略立案について、複数の専門家の助言を受けて準備を進めた。令和4年2月に開業以来、コロナ禍でSNS発信を続けたことが現在も良い効果をもたらしている。

現在は共感できるような消費とコンセプトに基づき、生花店のロスフラワーを活用した商品づくりを行い、現在はmemomiの看板商品となっている。 ※店舗は不定休、詳細はSNSを確認

東京出身で大学時代に事業をスタートさせた中山功大さん。令和2年ににかほ市地域おこし協力隊に就任し、にかほ市観光体験ゲストハウス「ゲストハウス麓^{ろく}」を開業した。

「大学時代に友人と海外や日本のあちこちを旅した。新潟の長岡で花火を見たときに地域の方がブルーシートの一部を開けてくれて、一緒に見た。地域の内側に迎え入れてもらった感覚で、人と関わり、暮らしを体感することが最上の非日常であると感じた。また、コロナ禍によってリモートワークやリモート事業、フリーランスが増加するなど時代が変わった。都会出身の方にとって『田舎(集落)での生活の豊かさを体感し、自分の田舎を作る』というコンテンツに魅力を感じている」と、事業スタートのきっかけを語った。にかほ市の地域おこし協力隊として地域の人々と交流を重ね、都心部にはない価値を見出し、築100年以上の古民家をリノベーションした地域に根付いた体験コンテンツなどを造成。都心部と集落の交流の場を作り出している。



Ventos代表
中山 功大 氏

[出展した企業の皆さん]



ジャム工房のら/羽後町



美表情塾/横手市



ナリワイづくりプロジェクト地域おこし協力隊/
由利本荘市



Ventos/にかほ市



SHOUHEI KURODA DESIGN/由利本荘市



珈琲焙煎工房 結/由利本荘市



Harmonize/秋田市



memomi/由利本荘市